

### SCM現場研修

三月四日から十二日まで、SCMの現場研修で釜ヶ崎というところに行ってきました。

釜ヶ崎は、日雇い労働者、路上で生活されている方が多く、そういった方々が生活している一番大きな地区だそうです。

実際釜ヶ崎に行ってみるまでは、釜ヶ崎はとて暗いところでひとりでおちおち歩けたような所ではない、などのマイナスイメージを持っていました。

しかし、釜ヶ崎に着いてみて何日か経ち、釜ヶ崎にも慣れてくると、おじさんの方から声をかけてくれたり、各施設での実習のときに知り合ったおじさんが顔を覚えてくれたり、なんとんだかとてもあたたかい場所の様に感じました。東京に帰ってきて、釜ヶ崎のおじさんのことはよく思い出します。

釜ヶ崎では一週間過

ごして研修は終わりでしたが、私の気持ちは研修が終わっても釜ヶ崎のことを考えたりと、まだまだ研修は終わっていないように決して一週間の現場研修だけで全てが終わるのではなく、これが基となってこれから前に前に進んでいけたらと思います。

この研修に参加する機会が与えられたことに感謝します。どうもありがとうございます。ざいざい(東京・練馬聖ガブリエル/麻田杏)

### 東北

一昨年から再開された夏のユースキャンプ、今年は八月一〜十三日に十和田湖畔にて行うことになりました。

内容は、ワーク(環境整備)、作品作り、十和田湖水浴などを考えています。昨年参加したメンバーも夏のキャンプを楽しみにしているようで、年々、教区内でユースキャンプの認知

### 第四回学生青年運動エキジューニカル協議会

三月十九〜二十一日、御殿場東山荘で行われた左記のプログラムに参加してきました。

メインプログラムの一つでは、アファガニスタン難民の方と、難民の支援に携わっている方の声を実際に聞き、我々が普段難民に対して抱くイメージや、いかにその問題を見過ごしにしていたかを知る機会を得ました。

今回は割と小さな集まりでしたが、教派を越えて、それぞれのフィールドで様々な活動に従事する面々との出会い、分かれ合いの時を持つことはそ

れ自体意味があり、自分達のフィールドにもフィードバックしていくよい機会だと思えます。このよう

な機会をもっと広げて多くの人との出会いの場に、またそこからつながりを持つていければと思います。そのような小さい輪が実際に確認できたこともあり、貴重な経験になったと共に、今後の可能性について考

えることができました。(東京・府中聖マルコ/中村真希)

### 2006年沖縄週間

#### 沖繩の旅のご案内

六月十六日〜十九日。主催は、沖縄教区宣教部と管区正義と平和委員会。テーマは、「命どう宝、ゆずれない憲法9条 基地再編の意図するもの」。今、まさに直面している平和憲法の改憲と米軍再編のこと、そして辺野古の基地建設について学び、考える旅です。どうぞ覚えてください。関心ある方はお問い合わせを。(九州・戸畑聖アンデレ/柴本孝夫)

#### フィリピン・スタディツアー

八月二十五日〜九月三日。【訪問予定地】メトロ・マニラ地区(サンチャゴ要塞、パヤタス・ゴミ処分場他)、セブ島(セブ南部埋立影響地区他)、ボホール島(ダム建設影響地区他)【費用】一十九万円【主催】名古屋学生青年センター、フィリピン情報センター・ナゴヤ、中部教区事務局。

#### 日本のODA(政府開発援助)の負の影響を受けているセブ島、ボホール島の現場を訪ね、被害に遭っている住民から直接話を聞きます。

### 医師・看護師・理学療法士・作業療法士等募集(新生病院)

中部教区の関連施設である特定医療法人新生病院(長野県小布施町)は、カナダ聖公会の宣教の一環である結核療養所としてスタートした歴史を今も大切に、身体を治すだけの場所ではなく、人に任せ、人の人生に関わり、癒され治る場所であり続けたいと思っております。近年では、回復期リハビリ病棟やホスピス病棟の充実などを行っています。

小布施における地域医療の中核病院として、行政、社会福祉協議会、在宅介護支援センター、その他諸団体との連携事業も多く、今後、在宅医療・在宅介護など地域医療に力を注ぐ方針を打ち出しています。ミツシヨナリーマインドを持って共に働いてくださる仲間を求めています。問い合わせは、新生病院・宮島(〇二六一二四七〜二〇三三)まで。

(新生病院法人事務局/中部・岡谷聖バルナバ教会、宮島義心)

### 第六回聖公会「手話」関係者全国集い

九月一七〜一八日、大阪教区川口基督教会で開催します。手話を知っている人も、よく知らない人も、ぜひどうぞ。(京都復活教会/藤本実千代)

### 正職員募集(名古屋学生青年センター)

【業務内容】一、子どもや青年、高齢者、外国籍住民などを対象に、地域に開かれたプログラムの創出。二、一般事務。【定員】一名【待遇】当センターの給与規定により、経験や年齢等を考慮して決定。社会保険等(健康保険、厚生年金、労働保険)有。【主な勤務地】名古屋学生青年センター(愛知県名古屋市)【就業時期】本年九月以降(相談可能)【応募方法】以下の書類を郵送(一)履歴書(二)志望動機エッセー「教会と社会と私」(二千字程度) \*応募書類は返却しません。\*書類選考通過者には、面接日を連絡します。【締切日】六月二十日(当日消印有効)【連絡先】名古屋学生青年センター

発行 日本聖公会全国青年ネットワーク事務局  
名古屋市昭和区宮東町260  
名古屋学生青年センター内  
tel 052-781-0165 fax 052-781-4334  
e-mail youth.po@nsskk.org  
www.nsskk.org/province/youth/